

「港湾を兵站基地にするな！」

「港湾労働者と戦争を考える」

ホルムズ海峡情勢と我々港湾労働者の生命の危機



を求めるなか、高市首相は19日の日米首脳会談を前に日本政府の方向性を決めた考えとのこと。ただ、戦闘中の地域への自衛隊派遣は法的ハードルが高いとの声も大きいとありました。



これら動きに対し、今もイランに対して助言を与えるイラン革命防衛軍元司令官は、もし日本にある米軍基地がイラン攻撃のために利用されているとの情報を得た場合、日本の船舶はおろさない事態に陥ろうとしています。少なくとも、労使課題として実質棚上げになっている特定利用港問題（港湾の兵站基地化）をとおして、中央団交で港湾有事の際の対応を先ずは協議を行い、国・政府、全ての港湾の関係者をおして我々港湾労働者の生命の確保策を早急に確立する必要があります。

時は1889年ロンドンの非熟練港湾労働者が主体となつて、かつてない程の大規模なストライキを引き起こした。

当時のロンドンには主に熟練労働者が構成された労働組合が存在した。反して非熟練労働者は未組織者がほとんどであった。港湾では常用・日雇労働者が存在した。特に日雇労働者の労働環境はひどく、働いたくても働けない状況が続いた。同時に、港では請負制度が存在し、一部の会社は労働者と直接契約を結んでいたが、大半は会社と労働

者との間に請負人が介在し等勝ち取った歴史的な争議となった。この争議は未組織であった非熟練労働者を組織化する（波動性）による雇用の不安定性は、依然として大きな課題となった。この争議以降、労働者登録制度の確立が焦点となった。1911年に全国の港で大規模なストライキが発生し、1912年にリバプールにおいてイギリス初、港別の登録制度が実施された。

博物館に労働組合の歴史が展示されていることに私は感動しました。港湾の歴史は労働運動と切っても切れない関係である事はロンドンも日本と同様です。次号は労働運動の歴史ではなく、ドックランズに展示されている資料を基に、戦時中のロンドンの歴史に触れていきます。

皆さんお疲れ様です。教宣部の石原です。今回は、3月4日から5日に行われた全国港湾中央行動中にも関わらず、毎月常任中心に新橋駅前で行っている港湾を戦争に使うな！港湾の兵站基地NO！と街宣活動を行い、それに参加してきたので、その感想と少しだけ戦争と港の話をお話したいと思います。戦争を支える港ではなく、平和と生活を守る港へ。港湾を戦争に使うな！港湾の兵站基地NO！と戦争に反対する声を上げ続けていくことが求められています。

戦争反対

このことは、もはや特定利用港問題やあるいは港に在日米軍が存在しているといった実情を抱える我々にとって、「生命の危機」に直面した事態を迎えているといつても過言ではありません。いま、高市政権の方向性によってはなにか起こってもおかしくないのです。我々全国港湾は3月18日開催の第3回中団交で「アメリカ・イスラエル

は直ちにイラン攻撃を停止せよ・高市政権の軍拡推進と港湾の兵站基地化に断固として反対する」の決議を確立することとしています。

今月号は引き続きドックランズ博物館に展示されていた資料を基にロンドンでの港湾労働運動の歴史にふれていきます。

この争議は未組織であった非熟練労働者を組織化する（波動性）による雇用の不安定性は、依然として大きな課題となった。この争議以降、労働者登録制度の確立が焦点となった。1911年に全国の港で大規模なストライキが発生し、1912年にリバプールにおいてイギリス初、港別の登録制度が実施された。

博物館に労働組合の歴史が展示されていることに私は感動しました。港湾の歴史は労働運動と切っても切れない関係である事はロンドンも日本と同様です。次号は労働運動の歴史ではなく、ドックランズに展示されている資料を基に、戦時中のロンドンの歴史に触れていきます。

皆さんお疲れ様です。教宣部の石原です。今回は、3月4日から5日に行われた全国港湾中央行動中にも関わらず、毎月常任中心に新橋駅前で行っている港湾を戦争に使うな！港湾の兵站基地NO！と街宣活動を行い、それに参加してきたので、その感想と少しだけ戦争と港の話をお話したいと思います。戦争を支える港ではなく、平和と生活を守る港へ。港湾を戦争に使うな！港湾の兵站基地NO！と戦争に反対する声を上げ続けていくことが求められています。

物流の要であり戦争の際には軍事物資や兵器が運び込まれる拠点ともなり港湾労働者は、知らぬ間に戦争を支える一端を担わされる可能性と常に向き合っていると思います。私たち港湾労働者は、世界の港湾労働者と戦争に加担しないという立場を掲げ、平和と生活を守る港を築くために声を上げ、港は兵器のためには支えられない、人々の暮らしを支えるためであると思いを



複数国に対して艦船派遣を求めている。高市首相は19日の日米首脳会談を前に日本政府の方向性を決めた考えとのこと。ただ、戦闘中の地域への自衛隊派遣は法的ハードルが高いとの声も大きいとありました。



このことは、もはや特定利用港問題やあるいは港に在日米軍が存在しているといった実情を抱える我々にとって、「生命の危機」に直面した事態を迎えているといつても過言ではありません。いま、高市政権の方向性によってはなにか起こってもおかしくないのです。我々全国港湾は3月18日開催の第3回中団交で「アメリカ・イスラエル

は直ちにイラン攻撃を停止せよ・高市政権の軍拡推進と港湾の兵站基地化に断固として反対する」の決議を確立することとしています。

今月号は引き続きドックランズ博物館に展示されていた資料を基にロンドンでの港湾労働運動の歴史にふれていきます。

この争議は未組織であった非熟練労働者を組織化する（波動性）による雇用の不安定性は、依然として大きな課題となった。この争議以降、労働者登録制度の確立が焦点となった。1911年に全国の港で大規模なストライキが発生し、1912年にリバプールにおいてイギリス初、港別の登録制度が実施された。

博物館に労働組合の歴史が展示されていることに私は感動しました。港湾の歴史は労働運動と切っても切れない関係である事はロンドンも日本と同様です。次号は労働運動の歴史ではなく、ドックランズに展示されている資料を基に、戦時中のロンドンの歴史に触れていきます。

皆さんお疲れ様です。教宣部の石原です。今回は、3月4日から5日に行われた全国港湾中央行動中にも関わらず、毎月常任中心に新橋駅前で行っている港湾を戦争に使うな！港湾の兵站基地NO！と街宣活動を行い、それに参加してきたので、その感想と少しだけ戦争と港の話をお話したいと思います。戦争を支える港ではなく、平和と生活を守る港へ。港湾を戦争に使うな！港湾の兵站基地NO！と戦争に反対する声を上げ続けていくことが求められています。

一方で、3月17日報道ではイランが事実上封鎖しているホルムズ海峡をめぐる、日本政府は憲法や現行法制の範囲内で自衛隊派遣が可能かどうか検討に入ったと報じられました。これは、米国防務省が日本など複数国に対して艦船派遣

を求めている。高市首相は19日の日米首脳会談を前に日本政府の方向性を決めた考えとのこと。ただ、戦闘中の地域への自衛隊派遣は法的ハードルが高いとの声も大きいとありました。

このことは、もはや特定利用港問題やあるいは港に在日米軍が存在しているといった実情を抱える我々にとって、「生命の危機」に直面した事態を迎えているといつても過言ではありません。いま、高市政権の方向性によってはなにか起こってもおかしくないのです。我々全国港湾は3月18日開催の第3回中団交で「アメリカ・イスラエル

は直ちにイラン攻撃を停止せよ・高市政権の軍拡推進と港湾の兵站基地化に断固として反対する」の決議を確立することとしています。

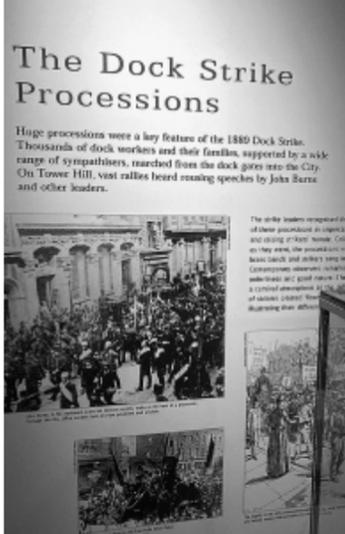
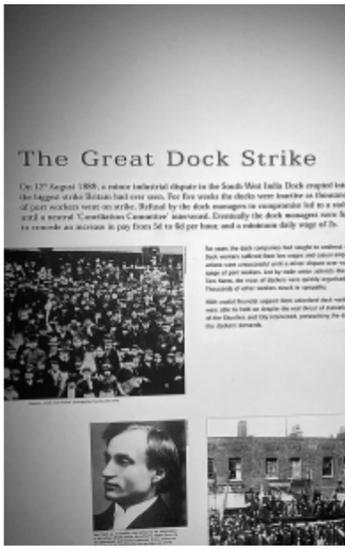
今月号は引き続きドックランズ博物館に展示されていた資料を基にロンドンでの港湾労働運動の歴史にふれていきます。

この争議は未組織であった非熟練労働者を組織化する（波動性）による雇用の不安定性は、依然として大きな課題となった。この争議以降、労働者登録制度の確立が焦点となった。1911年に全国の港で大規模なストライキが発生し、1912年にリバプールにおいてイギリス初、港別の登録制度が実施された。

博物館に労働組合の歴史が展示されていることに私は感動しました。港湾の歴史は労働運動と切っても切れない関係である事はロンドンも日本と同様です。次号は労働運動の歴史ではなく、ドックランズに展示されている資料を基に、戦時中のロンドンの歴史に触れていきます。

皆さんお疲れ様です。教宣部の石原です。今回は、3月4日から5日に行われた全国港湾中央行動中にも関わらず、毎月常任中心に新橋駅前で行っている港湾を戦争に使うな！港湾の兵站基地NO！と街宣活動を行い、それに参加してきたので、その感想と少しだけ戦争と港の話をお話したいと思います。戦争を支える港ではなく、平和と生活を守る港へ。港湾を戦争に使うな！港湾の兵站基地NO！と戦争に反対する声を上げ続けていくことが求められています。

物流の要であり戦争の際には軍事物資や兵器が運び込まれる拠点ともなり港湾労働者は、知らぬ間に戦争を支える一端を担わされる可能性と常に向き合っていると思います。私たち港湾労働者は、世界の港湾労働者と戦争に加担しないという立場を掲げ、平和と生活を守る港を築くために声を上げ、港は兵器のためには支えられない、人々の暮らしを支えるためであると思いを



このことは、もはや特定利用港問題やあるいは港に在日米軍が存在しているといった実情を抱える我々にとって、「生命の危機」に直面した事態を迎えているといつても過言ではありません。いま、高市政権の方向性によってはなにか起こってもおかしくないのです。我々全国港湾は3月18日開催の第3回中団交で「アメリカ・イスラエル

は直ちにイラン攻撃を停止せよ・高市政権の軍拡推進と港湾の兵站基地化に断固として反対する」の決議を確立することとしています。

今月号は引き続きドックランズ博物館に展示されていた資料を基にロンドンでの港湾労働運動の歴史にふれていきます。

この争議は未組織であった非熟練労働者を組織化する（波動性）による雇用の不安定性は、依然として大きな課題となった。この争議以降、労働者登録制度の確立が焦点となった。1911年に全国の港で大規模なストライキが発生し、1912年にリバプールにおいてイギリス初、港別の登録制度が実施された。

博物館に労働組合の歴史が展示されていることに私は感動しました。港湾の歴史は労働運動と切っても切れない関係である事はロンドンも日本と同様です。次号は労働運動の歴史ではなく、ドックランズに展示されている資料を基に、戦時中のロンドンの歴史に触れていきます。

炉辺談話



この争議は未組織であった非熟練労働者を組織化する（波動性）による雇用の不安定性は、依然として大きな課題となった。この争議以降、労働者登録制度の確立が焦点となった。1911年に全国の港で大規模なストライキが発生し、1912年にリバプールにおいてイギリス初、港別の登録制度が実施された。

博物館に労働組合の歴史が展示されていることに私は感動しました。港湾の歴史は労働運動と切っても切れない関係である事はロンドンも日本と同様です。次号は労働運動の歴史ではなく、ドックランズに展示されている資料を基に、戦時中のロンドンの歴史に触れていきます。

皆さんお疲れ様です。教宣部の石原です。今回は、3月4日から5日に行われた全国港湾中央行動中にも関わらず、毎月常任中心に新橋駅前で行っている港湾を戦争に使うな！港湾の兵站基地NO！と街宣活動を行い、それに参加してきたので、その感想と少しだけ戦争と港の話をお話したいと思います。戦争を支える港ではなく、平和と生活を守る港へ。港湾を戦争に使うな！港湾の兵站基地NO！と戦争に反対する声を上げ続けていくことが求められています。



物流の要であり戦争の際には軍事物資や兵器が運び込まれる拠点ともなり港湾労働者は、知らぬ間に戦争を支える一端を担わされる可能性と常に向き合っていると思います。私たち港湾労働者は、世界の港湾労働者と戦争に加担しないという立場を掲げ、平和と生活を守る港を築くために声を上げ、港は兵器のためには支えられない、人々の暮らしを支えるためであると思いを

リレー随筆 汽車ポツポの前で 平和をさげば

皆さんお疲れ様です。教宣部の石原です。今回は、3月4日から5日に行われた全国港湾中央行動中にも関わらず、毎月常任中心に新橋駅前で行っている港湾を戦争に使うな！港湾の兵站基地NO！と街宣活動を行い、それに参加してきたので、その感想と少しだけ戦争と港の話をお話したいと思います。戦争を支える港ではなく、平和と生活を守る港へ。港湾を戦争に使うな！港湾の兵站基地NO！と戦争に反対する声を上げ続けていくことが求められています。